

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		ボランティア活動推進				所管	福祉部 福祉課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	174	計画事業名	福祉ボランティア育成・活動支援		
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (5) 支え合いの地域社会づくり					[事業開始] 平成 2 0 年度	
		[施 策] ③ 地域社会への参加促進[61]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例・同施行規則			
	事業対象	社会福祉協議会ボランティア活動推進事業						
	事業目的	ボランティアが活動しやすい環境の整備を推進し、ボランティア活動を支援する。						
	事業内容	社会福祉協議会が実施する以下の事業等を支援する。 ・ボランティア活動支援・育成 ・災害ボランティア養成・啓発 ・ボランティアフェスティバルの開催 ・福祉キャブ運行 等						
委託の有無	なし		委託内容					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	ボランティア活動事業数 (事業)		15	13	15	14	
	成果指標	災害ボランティア登録者 (人)		95	-	77	83	
	決算額 (単位：千円)				1,821	1,848	1,782	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			1,080	833	1,278	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			1,821	1,848	1,782	
		総経費			2,901	2,681	3,060	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源 (区負担額)			2,901	2,681	3,060			
前年度から改善した事項		「はじめての福祉ボランティア講座」を新規で実施し、車いす体験やアイマスク体験等を行い、新たなボランティアへの参加意識の喚起に取り組んだ。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	4	特に、今後発生が懸念される地震等の災害時にむけたボランティアの社会的要請が高まっている。					
	効率性	3	社会福祉協議会のボランティア活動支援事業や育成事業等は充実した内容で実施されており、効率性に大きな変化はない。					
	手段の適切性	3	ボランティアの主体性を重んじながら、情報提供やネットワークの構築、啓発の機会を設けるなどし、必要な支援を行っている。					
	目的達成度	2	各種事業を継続的に実施することで、ボランティア活動の意義や重要性についての理解や参加の促進に努めている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
区民の地域福祉や災害等への対応のため、今後とも継続的かつ効果的な、ボランティア活動についての普及啓発や活動環境の向上に努めていく。						維持		